

두 개의 도시가 꿈꾸는 러브 그래픽

# 純愛譜

—じゅんあいふ—

‘순애보’

ソウル & 東京

響きあうふたつの魂

イ・ジョンジェ / 橋実里

余貴美子 / 栗田麗 / キム・ミニ / タンカン / 柳ユレイ / 大杉漣

監督・脚本:イ・ジュヨン プロデューサー:クー・ボンハン 撮影:ホン・キョンピョ、近森真史 音楽:チョ・ソウウ  
製作:シネマサービス、松竹

エンディングテーマ 月のない夜 道のない場所 / 歌 クリスタル・ケイ (EPIC RECORDS)

オリジナル・サウンドトラック (発売:カルチュア・パブリッシャーズ)

2000年 / 韓国・日本 / カラー / 1時間55分 / ビスタサイズ 配給:松竹株式会社 <http://www.shochiku.co.jp> 宣伝:バンドラ 宣伝協力:スキップ / プランニングDOM

DOLBY DIGITAL



Asako  
in Ruby Shoes



ひとりぼっちでさまよう ふたつの心  
いつの日か きっと運命が  
二人をひき寄せる…

## 彩-18才 in Tokyo

予備校生の彩は、好きだった祖母の死、家庭不和など満たされない愛情に寂しさを抱え、死ぬことですべてから自由になれるのではないかと感じていた。そして、ついに自分の誕生日に死ぬ決心をする。死に場所として選んだのは、日付変更線の上。飛行機チケット代を稼ぐために彼女はインターネットの覗き見サイトに出演する…。

「八月のクリスマス」「シュリ」、そして「JSA-共同警備区域-」と話題作、ヒット作が出現し、世界が熱い関心を寄せる韓国映画。その韓国映画界をリードする製作会社シネマサービスが、日本映画の大手=松竹の出資と協力を得て、新たな話題作を誕生させた。ソウルと東京を舞台に、無垢なふたつの魂がめぐり逢うまでを描いた「物語」、それが「純愛譜」である。

ヒロインの彩=「朝子」を演じるのは、現在、日本のTVドラマ・CMなどで活躍中の新進、橋実里。ウインを演じるのは、人気、実力共韓国NO.1スターのイ・ジョンジェ。「イルマーレ」「インタビュー」「情事」など、主演作の日本公開が今秋より相次いで予定され、ブレイク間違いなしの俳優。この二人を支えて、大杉漣、余貴美子、ダンカンら、第一線の実力派たちが脇を固めているのも見どころ。

監督は、長編第一作目「情事」の大ヒットで、数々の映画賞を受賞したイ・ジェヨン。さりげない日常の中に現代人の孤独を浮き彫りにさせた描写やリアリティのある演出が、新鮮な魅力を放っている。

イ・ジェヨン監督の透徹した「眼」が、映像と音楽の細部に行き渡り、国情を超えた未来の恋愛映画の匂いがした—— 本木 克英 「釣りバカ日誌12」監督  
ふたりの物語の線と線が交差して、ちゃんとした事実として「出会い」がはたされているところが感動的でした—— 二宮ひかる 漫画家

## ウイン-27才 in Seoul

役所務めのウインは、単純な仕事、ありきたりの毎日にウンザリ気味。生きる目的を見いだせないまま、時間が過ぎてゆくばかりだ。そんな彼が唯一心を開放できるのが、インターネットのサイトを見ているとき。ある日、彼はサイトの中でどこかはかなげな美少女「靴を履いた朝子」に出会い、彼女の陰りのある表情に惹かれていく。

映画初出演にして  
主役に抜擢!



# MISATO TACHIBANA 橋実里

1981年1月9日生まれ。主役の彩のオーディションは、監督とプロデューサーが来日して行われたが、橋実里との面接が終わったところでオーディションは実質的に終了してしまった。2人とも彼女を一目で気に入ってしまったのだ。監督は早速、「彩」のイメージを橋実里にあわせてシナリオを書き直し、「橋実里の純愛譜」を書き上げた。そして撮影初日。映画初出演にして、いきなりの主役ということで、さすがに緊張していたのだが、彼女は彩になりきろうとした。そして、3日もしないうちに輝き始めた橋に、スタッフ一同「女優 橋実里」の誕生を確信したのであった。昨年末に公開された韓国では「純愛譜」を輝かせる宝石」と映画評論家たちの間でも評判となった。



エンディング  
テーマ 「月のない夜 道のない場所」  
歌 クリスタル・ケイ (Epic Records)  
収録アルバム「637—always and forever」  
Release on 8・22 ¥3,059 (incl. tax)  
エンディングテーマを歌うのは、米韓の血を引くシンガー=クリスタル・ケイ。アメリカン・スクール在学中の15歳! センシティブでパワフルな彼女の歌が、爽やかな余韻を残している。

## 11月3日(土) 関西地区独占ロードショー

★前売券1,300円(当日一般1,800円)チケットぴあにて発売中  
★シネフェスタならではの週3回のサービスデー!! ①月曜 男性1,200円 ②水曜 女性1,000円 ③金曜 女性1,200円  
★今秋公開の韓国映画の前売券をご持参の方は当日1,300円に割引!! (使用済可)「イルマーレ」「反則王」「魚と獲る女」「リメンパー=ミー」「インタビュー」「リペラ=メ」

地下鉄動物園前⑤番出口・フェスティバルゲート7F 06  
動物園前シネフェスタ4 (6647)  
7188